



ニュース > 記事

2013年5月20日

ツイート 0 おすすめ 0 +1 0 B! 0 この記事をスクラップ メール 印刷

(私の視点) 胃がん対策 撲滅への一歩、ピロリ除菌 浅香正博



浅香正博さん

今年2月から、胃潰瘍(かいよう)などの病気だけでなく、慢性胃炎もピロリ菌の除菌が保険でできるようになった。胃がん対策にとって大きな前進だ。

ピロリ菌に感染すると、ほぼ100%の人にヘリコバクター・ピロリ感染胃炎という慢性胃炎の一種が生じる。長く続いた場合、萎縮性胃炎を引き起こし、その一部から胃がんが発生してくる。従って、慢性胃炎をしっかりと治療しておく、その先にある胃・十二指腸潰瘍や胃がんになる可能性を大幅に減らせる。

日本では毎年5万人が胃がんで亡くなる。肺がんに次ぐ数で、ほぼ40年間変化していない。胃がんで亡くなる人を減らす試みは我が国で以前から行われ、早期胃がんという概念も世界で初めて臨床の場に導入された。早期胃がんなら予後はきわめて良く、5年生存率は95%を超す。早期で発見するためにバリウム、内視鏡検査の研究に全力を挙げた結果、日本の早期胃がんの診断能力は世界でトップに立っている。胃がん全体で5年生存率は60%を超え、欧米の20%を大きく上回っている。

がんは、生活習慣病由来と感染症由来に大別できる。胃がんは従来、前者に分類されていたが、最近の研究により、その95%以上はピロリ菌の感染によることが明らかになってきた。さらに私たちの研究チームは、胃がんと密接に関わりのある萎縮性胃炎の大半がピロリ菌感染によるものであること、除菌によって胃がんが3分の1にまで減らせる可能性を明らかにし、胃がん予防のために除菌が必要であることを強調してきた。

学会の提言を受けて、厚生労働省が慢性胃炎に対して除菌の保険適用を認めたことは英断と言っている。世界でも初めてで、海外の研究者からも注目されている。

世界的に高い水準にある胃がんの診断と内視鏡治療に加え、ピロリ菌の除菌という有力な手段ができた。積極的に利用すべきだ。まず、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎であるかどうかを医療機関でチェックし、陽性なら除菌を行う。10代、20代では感染率は10%前後で、除菌すれば胃がんを含む胃疾患を抑えることにつながる。高校卒業時など、時期を定めて必ず検診を行うようにするべきだ。

一方、60歳以上の高齢者では感染率は70%を超えている。すでに前がん状態に進んでいる場合もあり、除菌後も定期的にフォローする必要がある。これらを徹底すれば、10年後の日本で胃がんで亡くなる人は激減しているはずだ。今年が「胃がん撲滅元年」になるよう努力したい。

(あさかまさひろ 北海道大学特任教授)

朝刊紙面 紙面にプラス

新聞宅配申し込み デジタル申し込み

最新の朝刊紙面 [東京] 2013年 05月 20日 月曜日 地域面紙面 見どころ動画 バックナンバー 05月19日(日) 05月18日(土) 05月17日(金) 05月16日(木) 05月15日(水) 05月14日(火)

web 広告月報 ASAH AD MONTHLY

PR 注目情報

お腹が痛い... それはIBSによる下痢や腹痛かも IBSならよい治療法があります。 TOYOTA ナイス好奇心 ツアー 家族で体験する旅に行こう 子どもの好奇心を満たす TOYOTA NOAH ナイス好奇心! ツアー

参加型のランキング旅番組 豪華ウルル旅行をプレゼント

ソーシャルランキング もっと見る

ツイッター フェイスブック

- 1 北朝鮮、短距離誘導弾を発射 488
2 「民間提言」に経産省が関与 341
3 さいたま市長に清水氏再選 231

会員アンケート・特典

- 集まれ! アナウンサー志望者☆朝日就職フェア
朝日新聞特別写真展: キャッチコピー受賞作発表中
サッカー日本代表戦ユースプログラムにご招待

優秀作品決定!!! 朝日新聞 特別写真展 The Asahi Shimbun 松坂桃李 x ガッツ石松 PHOTO by SHODA MASASHIRO